

CAUAシンポジウム2002東京

高校・大学における
情報教育に期待すること

taka@futurekids.co.jp

Future institute

FUTUREKIDS
School for the Future

すぐに実践・留意したいこと

1. (学習)目的の明確化
2. 数字によるマイルストーン
3. “花火“:学力との相関性
4. 教える人のスキルセット明確化 & 充実

1、(学習)目的の明確化

手段・手法発表のお祭り??

1. 社会のニーズ
 1. 事業の担い手 (ブルー&ホワイトカラー)
 2. 技術のBlack Box化を防ぐ
 3. 作り手を育てる 国策としての重点施策
2. 教育的観点
 1. 論理性等、能力の涵養
 2. 副次効果 (「これがあるからできること」)
3. 大学からの要請
 1. 大学教育を充実 (効率化)するために

2、数字によるマイルストーン

? 英国、韓国 の例

? 10-20%の教育をデジタル活用で実施

? 袖ヶ浦市、各務原市

? 年間30時間

? 「いろんな先生がいる」

? だから数字のマイルストーン!!

? IT活用が自己目的化するのナンセンスだが、
初動段階では意味がある。

3、‘花火’：学力との相関性

- ? 教育現場として、世論に訴える努力が必要
- ? 副次効果に関する実証実験など
- ? 読解力、計数能力に関して20-40%アップ
- ? 「携帯リテラシー」との違い

4、教える人のスキルセット明確化 & 充実

- ? 社会との連携
- ? 教育と社会の第一線の間を往復
- ? 極論
 - ? 「停滞は悪！」
 - ? VS 「石の上にも3年」
- ? **実践的教育 = 終身雇用との決別**

教科情報はこれでいいのか

1. 教員育成・研修
2. 教員に対する人的サポート
3. カリキュラムの調達

ふぞろい

? 前項でOK

情報の学力 評価

- | | | |
|--------|----------------|----|
| 1. スキル | できる | 評価 |
| 2. 知識 | 知っている | 評価 |
| 3. 体験 | やった、感じた、見た、聞いた | 履歴 |